

令和2年第8回定例会

江東区教育委員会会議録

令和2年8月21日（金）

江東区教育委員会

令和2年第8回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和2年8月21日（金）午後0時30分
- 2 閉会年月日 令和2年8月21日（金）午後2時10分
- 3 開会場所 江東区教育センター（大研修室）
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、橋本俊雄（教育長職務代理者）、進藤孝、眞貝裕利子、鈴木清人
- 5 出席職員 武越教育委員会事務局次長、半田学校施設課長、大町学務課長、伊藤指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、堀越教育支援課長（教育センター所長兼務）、河野地域教育課長、栗原江東図書館長、佐久間主任指導主事
- 6 協議事項
- (1) 令和3年度中学校教科用図書採択について
- (2) 令和3年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について
- 7 審議概要
- 本多教育長 ただいまより、令和2年第8回江東区教育委員会定例会を開会いたします。
- 本日の会議について、傍聴したい旨、52名の申出がありました。江東区教育委員会傍聴規則第3条では、傍聴人の定員は5名と定められているところですが、同規則第9条に基づき、本日の会議については、定員を20名といたします。江東区教育委員会傍聴規則により、傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。
- (傍聴人入室)
- 本多教育長 傍聴人の方にお願い申し上げます。教育委員会の規則では、傍聴人は5名と定められているところでありますけれども、本日は、会場内のソーシャル・ディスタンスを確保した上で、定員を20名とさせていただきます。教育委員会では、教科書採択の議論を静謐な環境の下で行いたいと思います。傍聴券に記載しております注意事項をお守りいただきなど、皆さんの御協力をお願いしたいと思います。
- また、本日は、教育委員、理事者もマスクをつけて、会議を行います。音声がよく聞こえるよう、マイクを使用することについてもお伝えさせていただきます。
- なお、傍聴中に体調が優れないなど、そういう場合はつきましては、

遠慮なく、途中で退室してくださって構いませんので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日、理事者である池田庶務課長、太田整備担当課長は欠席となりますので、あらかじめ御了承願います。

本日の会議録署名委員を御指名いたします。鈴木委員、橋本委員にお願いいたします。

それでは、審議に入ります。

協議事項 1、令和 3 年度中学校教科用図書採択についてを議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に係る公正な選定、採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については、採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 それでは進めてまいります。

本案について事務局より説明願います。

伊 藤 指 導 室 長 それでは、本日の教科書採択の流れについて、御説明をさせていただきます。

8月 14 日の第 7 回臨時会において、令和 3 年度から 6 年度の 4 年間に、中学校で使用する教科書のうち、国語、書写、社会（地理的分野）、地図、美術、保健体育、外国語（英語）、特別の教科道徳の 6 教科 8 分野について、採択していただきました。

本日は、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）の 5 教科 8 分野について、御協議をいただくことになります。

なお、本日も教科書の見本を机上に御用意いたしましたので、併せて御覧いただきたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

本 多 教 育 長 それでは、社会（歴史的分野）の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、社会（歴史的分野）の結果報告書について御報告させていただきます。

教科等、社会（歴史的分野）。

発行者、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、育鵬社、学び舎の 7 社です。

内容の選択。

1 点目、東京書籍は、各章末に基礎・基本のまとめのページを設け、確実に基礎・基本が定着するよう工夫されている。

2点目、教育出版は、各単元のタイトルの上に、学習する内容が何世紀なのか、何時代なのかが明記されている。

3点目、帝国書院は、基礎的・基本的な技能を身につけるための技能を磨く発達段階に応じた内容配列になっている。

4点目、山川出版社は、タイトルの下に本時の課題が、ページの最後には、ステップアップが掲載されている。

5点目、日本文教出版は、学習の目当てを明らかにし、主体的に学習に取り組めるようにしている。

6点目、育鵬社は、16か所に掲載されている歴史ズームインで、歴史的事象への関心を高めている。

7点目、学び舎は、章をまたいでの学習のまとめができるように工夫され、基礎・基本の定着が図られるようになっている。

そのほか、構成・分量7点、表記・表現8点、使用上の便宜5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、歴史的分野の見方・考え方や学習の進め方について、2点目、資料の活用について、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについてなどとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、社会（歴史的分野）について、御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

橋本委員 教科書を読んでみましたが、内容がかなり豊富で充実していることに驚きました。各社、写真や統計などの資料も充実していますし、資料一つ一つから、様々な見方や考え方できます。

歴史の学習は、これから日本をつくっていく子どもたちにとって、とても大切な内容ですから、特に基礎的・基本的な内容については、しっかりと学んでいって、理解をしていただきたいなと思っております。

そういう観点から、生徒が歴史の学習をする際に、流れをつかんで、今、どの時代の学習をしているのかを把握することが、とても大切だと思っています。

東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版は、ページごとに年表が掲載されており、この時代にどんなことがあったのかが明確であると思います。

特に教育出版の表記は、いつの時代を学習しているのか、黄色い色字体を使っています。これは、大変分かりやすいと思っております。全体のレイアウトも統一されていて、掲載されている位置も、紙面の中央よ

り、やや上の部分という感じですか。生徒にとっては、とても見やすい位置であると思っております。

本多教育長 ありがとうございます。
確かに年表に工夫があるかなと思います。

橋本委員 見やすいです。

本多教育長 はい。ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 私は、歴史の学習では、人物について、しっかりと学習してもらいたいと考えています。身近な歴史上の人物を取り上げて、学習することは、学習指導要領にも示されています。

取り上げている人物の数についてですが、都の調査研究資料を見ますと、育鵬社は、歴史上の人物を取り上げている数がとても多くなっています。

育鵬社が 739 か所、山川出版社が 668 か所、教育出版が 564 か所となっています。偉人について学ぶという点で、評価ができると思います。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 私も鈴木委員に同感でございます。やはり、生徒たちには、現在の我が国が世界をつくり上げるまでに尽力されてきた人物について、しっかりと学んでもらいたいですし、また先生方にもしっかりと指導していただきたいと思っております。

先ほど、鈴木委員からお話がありました 3 社についてですけれども、教育出版は、例えば、織田信長や豊臣秀吉といった小学校の教科書で登場した人物について、マークをつけて示しております。人物像と人物に関する解説文を掲載している。

山川出版社も同様、人物というマークを様々な箇所に設けており、その人物について詳しく説明しております。

育鵬社は、なでしこ日本史というページで、15人の日本人女性の活躍というページを紹介しております。生徒に積極的に学んでほしい発展的な内容だと思っております。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

進 藤 委 員 私は、写真や資料が豊富で、それらを生徒が上手に活用することが、非常に大切だと思っております。生徒たちが、小学校6年生で、歴史の基礎的な学習をしてきてはいますが、歴史の学習を進めていく上で、難しいことの1つに、一人一人の歴史への興味や関心は様々であるということだろうと考えております。

だからこそ、歴史に対する興味や関心を持たせていくために、様々な資料を活用し、生徒に事実を理解させ、理解したことを相手に的確に伝える学習は最も大切ではないかと、私は思っております。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。資料ということで、こどもたちにとって歴史は昔にあったことですから、その資料が豊富である、工夫があるということは、確かにとてもいいことかもしれません。

そのことに関してでも構いませんが、いかがでしょうか。

眞 貝 委 員 生徒たちが中学校に入学して、歴史の学習の初めに、世界四大文明について学習すると思います。世界の各地で文明が築かれたことをしっかりと理解させることは、それ以降の世界の歴史の流れをつかむ上でも、大切な部分だと思っております。

各社、世界四大文明を扱っているページを見比べてみたけれども、学び舎ですが、エジプト文明のピラミッドの写真は、他社の写真よりも大きく、迫力があると思いました。

一方、学び舎以外の6社は、古代文明が起こった地域の地図を示し、世界四大文明の栄えた場所は、どこかがよく分かり、隣接する川もきちんと明記されております。

中でも私が注目したものは、東京書籍と教育出版です。東京書籍は、写真資料の下に、「みんなでチャレンジ」というコーナーを設け、古代文明の共通点や違いについて、話し合う学習を設定しております。

一方、教育出版は、地図資料の下に「歴史の技」というコーナーの中で、文明が起こった地域に共通する地形の特色は何かを考えさせる学習を設けております。

資料が充実していることはもちろんですけれども、東京書籍と教育出版は、資料を活用させるための工夫が見られると思いました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

橋 本 委 員 本区の生徒には、郷土としての江東区への愛情を深めさせるためにも、ぜひ江東区の歴史について、多く勉強していただきたいなと思っています。新しい学習指導要領でも、身近な地域の歴史的な特徴について、い

いろいろな資料を活用しています。様々な角度から考え、表現することを、重要視するように明記されていると聞いております。

御存じのとおり、本区では、本区独自の社会科副読本を出しておりまして、その副読本では、江東区に関する詳しい歴史についても書かれています。

そういうことですので、副読本では、本区の歴史について詳細を知り、教科書では、その学び方を知って、江東区についての歴史的な学習を充実してほしいなと思っております。

まず、その視点から見ますと、東京書籍と教育出版は、最初の単元に、身近な地域の歴史を設定し、具体的にテーマ設定、調査、考察、まとめと発表といった一連の学習方法を示しています。

特に教育出版は、意見を共有して、アイデアをまとめるという手引きをしていまして、意見の整理の仕方のイメージ図も分かりやすく掲載されています。

また、身近な地域の歴史を調べるための特設ページを、6か所、設けており、生徒が歴史や地域の歴史について、より多くの学び方を知り、より多面的、多角的に考察したりできるのではないかなと思っております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。やはり、身近な地域の歴史も古い歴史と併せて、江東区の歴史なども十分に理解させたいなという気持ちを持っております。

いかがでしょうか。ほかによろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、社会（歴史的分野）については、教育出版が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 よろしいでしょうか。

それでは、これまでの意見を整理いたします。

時代が分かる表記上の工夫があること、歴史上の人物の取上げ方について工夫があること、資料を活用する上での工夫があること、身近な地域の歴史の学習について工夫があること、以上4つの理由により、教育出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、社会（歴史的分野）については、教育出版を採択することといたします。

それでは、次に、公民的分野になりますので、御準備をお願いいたします。

準備はよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、続いて、社会（公民的分野）の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、社会（公民的分野）の結果報告書について御報告させていただきます。

教科等、社会（公民的分野）。

発行者、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社です。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、小集団での参加型の学習を設定し、対話的な学習を通じて、多様な意見に触れながら、学習を深められるような工夫をしている。

2点目、教育出版は、各章ごとに学習の見通しが設けられ、章ごとの視点が整理されている。

3点目、帝国書院は、各章の冒頭に、紙面全体にわたる大きなイラストから、社会全体像を概観する特設「学習の前に」を設定している。

4点目、日本文教出版は、学習の整理と活用では、ニュースを、見方・考え方から見る活動が設定されている。

5点目、自由社は、個人と社会生活、国家の仕組み、経済、国際社会、持続可能な社会という配列で、枠組みを徐々に広げている。

6点目、育鵬社は、ページ構成が構成されていることや、学習課題など、学習内容の課題が明確に位置づけられている。

そのほか、構成・分量6点、表記・表現7点、使用上の便宜7点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮6点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、公民的分野の見方・考え方や学習の進め方について、2点目、スペースの使いやすさについて、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、オリンピック・パラリンピックに関連する記載についてなどとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、社会（公民的分野）について、御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

眞貝委員 社会科の学習は、1、2年生で、地理と歴史を学習し、3年生で、歴史の一部と公民を学習するようになっていると伺っております。

公民は、現代社会、経済、政治、国際社会について学習することになりますけれども、これらの内容は、誰でもしっかりと理解しなければいけない内容で、とても重要だと思っております。

地理や歴史を学んだ後の基に、義務教育最終の中学校3年生で学ぶわけですので、公民は比較的難しいという側面も兼ね備えていると思います。ですので、生徒が学びやすく、また、教員にとって、指導しやすい教科書がよいと考えております。

本多教育長 ありがとうございます。確かに、今、委員からお話をあった難しいという印象がありますので、学びやすいということは確かにいいですね。ほかにいかがでしょうか。

進藤委員 私も、生徒が学びやすい教科書がいいと思います。そのためにも、生徒にとって、学習の見通しを持ちやすい点が、とても大切だと思います。

各社、巻頭ページにある教科書の使い方を示している箇所を見比べてみましたけれども、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版は、実際に本文ページを縮小して、掲載し、その上で、具体的な使い方について示しており、見通しを持って、学習が進めやすくなっていると思いますので、非常によろしいんではないかと考えております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。見通しという視点でもありました。ほかいかがでしょうか。

橋本委員 公民というと、とつづきづらいということが、私は、一番あるんですが、まず、学びやすく、指導しやすいという教科書について、一度、考えました。

私は、まず、教員にとっての指導しやすさは、それは、どういう視点で見たらいいのかなということを見てみました。地理的分野、歴史的分野でも同様でしたが、各社、見開き2ページの内容を、おおむね1時間で扱うように構成されています。結果報告書にもありましたが、各社、導入資料、学習の課題、本文、学習のまとめという流れになっていて、授業のしやすさでは、かなりしやすいのかなと思います。

また一方、生徒の視点から見た場合、本年度は特に新型コロナウイルス感染症のいろいろなことが起きていて、特に自分自身で、家で学習したり、自分、個人で学習することが非常に多くなってきています。予習、復習、両方の面からも、どのページも学習の課題がかなりはっきりと分かる、しっかりと自分で学習できる教科書がいいんではないかなと、私は思います。

そういう視点から見ますと、東京書籍、教育出版、帝国書院の3社は、

学習のまとめの部分が確認する、説明するといった2つの視点で、ページの構成が統一されています。学んだことを2つの視点でまとめるということは、学習内容を定着させる上でも、すごく評価できると私は思います。

本多教育長 ありがとうございます。確かにコロナの状況を受けて、子どもが教科書を見て、自分で学べるということは、非常に大切な視点です。
ほかいかがでしょうか。

進藤委員 私は人権擁護委員を務めておりまますので、各社、人権の歩みを扱っているページを見比べてみました。民主主義と人権の保障は、どのような歴史の過程をたどって、実現してきたのかということを、生徒たちには、しっかりと学んでほしいと思っております。

各社、ページの上の部分に、資料として、人権思想の始まりから人権の国際的保障に至るまで、年表で流れが分かりやすく示されています。

中でも東京書籍、帝国書院、日本文教出版は、年表の中には、日本における歴史的な過程も明記されていて、とてもよいと思います。

また、東京書籍は、世界人権宣言の第2条のイヌイットとマオリの言語に翻訳されたものを掲載していて、実際に500以上の言語に翻訳され、インターネットで、誰でも読むことができる事が書かれております。このことは、ぜひ生徒たちに分かってほしい大事な一つだと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 私も人権擁護委員を務めておりますけれども、進藤委員とは違った視点で、各社の裁判と人権の内容と取扱いについて見比べてみました。各社、裁判と人権の保障について具体的に述べておりますけれども、犯罪被害者の視点は、人権上の課題として、とても大切だと思っております。

自由社が犯罪被害者の人権保障の動き、また、育鵬社が被害者参加制度を取り上げていることは、評価できるのではないかと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。人権というような視点で、御意見をいただきました。
ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 私は、平成28年から適用されるようになった18歳選挙権の視点で、教科書を見ました。
本区の学校においても、実際に模擬選挙を実施して、投票することの

大切さや政治に参加することの意義について、もう既に学んでいます。体験した学校からは、1票の重みや政治への関心が高まったなど、成果があったと伺っています。

これから江東区を支えていく中学生には、しっかりと公民の学習をしてもらって、選挙権行使してもらいたいと思います。そのためには、選挙の仕組みについて理解することが大切です。

その点、東京書籍と自由社が見開きページ特集を組み、選挙制度や政治参加、選挙の流れについて、詳しく掲載しています。特に東京書籍は、期日前投票、不在者投票について、情報を集める点について、投票所で、投票する点について、それぞれの視点で、多くの写真やイラストを示して、分かりやすくまとめていると思います。

また、18歳になったら、選挙運動ができる点についても触れられていて、ブログやSNSへの書き込みや、友人、知人に投票依頼ができる点についても書かれています。選挙について、様々な視点から学べる、よい資料ではないかなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

橋本委員 今を生きることもたちが成人をして、社会で活躍する頃には、我が国はもちろん、世界全体が激しい挑戦の時代になっていくのかなと予想されています。私は、これから時代を生きる生徒たちには、一人一人が、持続可能な社会の担い手として、活躍してもらいたいと思っております。

持続可能な開発目標、いわゆるSDGsという視点から、教科書を見てきました。各社、公民の学習の総まとめとして、最後の単元に、持続可能な社会を実現していくための学習について記載されております。

特に東京書籍は、課題把握、課題探究、意思決定、提案・参加の4つの視点から学習できるようになっていて、特に課題探究のページには、場所や推移といった観点から、状況を捉えるための工夫がされていると思います。先生方が指導する上でも、とても効果的という感じを、私は強く感じます。

もう1点、218ページを御覧いただきたいんですが、探究を続けるという内容が記載されております。生徒たちが、この学習の後も、解決策を探求していくという、し続けていくという視点から、文章が掲載されています。そういう点から、東京書籍は、内容が充実しているんではないかなと私は思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんのお意見を伺っておりますと、社会（公民的分野）については、東京書籍が適しているんじゃないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が学びやすく、教員が指導しやすいこと、人権についての記載に工夫があること、選挙の仕組みについて内容が充実していること、持続可能な社会の記載に工夫が見られること、以上の4つの理由により、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ござりますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、社会（公民的分野）については、東京書籍を採択することといたします。

それでは、続いて、数学に移りますので、御準備をお願いいたします。
よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、続いて、数学の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、数学の結果報告書を御覧ください。

教科等、数学。

発行者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、数研出版、日本文教出版の7社です。

内容の選択。

1点目、各社とも、基礎基本を重視した内容になっている。

2点目、東京書籍は、導入の章のとびらと節とびらで、1コマの場面を提示している。生徒の疑問を引き出すことで、主体的な学びを促している。

3点目、大日本図書は、生徒が主体的に学習を進められるように、巻頭、「数学の世界へようこそ」で、代表的な数学的な見方・考え方を示している。

4点目、学校図書は、導入で、目標とともに、対話的な活動を導く「Q」を設定し、生徒が主体的に学びを進められるようにしている。

5点目、教育出版は、章の導入で、身近な内容と関連づけた課題を、「Let's Try!」として示し、生徒の学習意欲を高めている。

6点目、新興出版社啓林館は、主体的な学びを促すために、数学的活動を取り入れた学習のとびらを設定している。

7点目、数研出版は、「Q」や「TRIAL」、生徒自身が考えられるような問い合わせを各所に設けることで、主体的な学びを促している。

8点目、日本文教出版は、随所に大切な見方・考え方を示し、生徒が主体的に学べるようにしている。

そのほか、構成・分量7点、表記・表現5点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮3点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、数学スタンダードについて、2点目、分かりやすさ、読みやすさについて、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、新たに加わった指導内容についてなどとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、数学について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

眞貝委員 数学は、学習の積み重ねが特に大切な教科だと思っています。生徒が主体的に学び、数学スタンダードをしっかり身につけることができる教科書が良いと思います。

各社とも、各章の初めに日常生活との関連を図って、課題を設定したり、イメージを持ちやすいように、イラスト、写真などを使ったりして、導入のページを工夫しております。

特に東京書籍、啓林館は、章の中に設定されている学習の小さなまとまりの初めにも、同様のページが設定されていて、生徒の興味・関心が高められるのではないかと思う。

本多教育長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 私は、生徒が主体的に学ぶためには、新たな課題に取り組むときに、これまで学んだことを思い出し、関連づける見通しを持って、解決方法を考えることが大切だと思います。

数研出版、教育出版、日本文教出版は、章の導入のページの前に、既習事項についてまとめられたページが用意されています。新たに示された内容の四分位範囲と箱ひげ図について学ぶ単元で見ますと、東京書籍、大日本図書は、既に学んだヒストグラムと新しい内容である箱ひげ図を、対応させて掲載している箇所が多くあります。既習事項とのつながりを意識しながら、主体的に学習に取り組めるなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。今、主体的ということで、お二方から意見が出たところです。

ほかいかがでしょうか。

進 藤 委 員 私は、日常生活とのつながりが分かる課題設定が重要だと考えております。生徒が、自分事として、主体的に学べるのではないでしょうか。

今、鈴木委員からお話のあった箱ひげ図の導入ページを見てみると、大日本図書、教育出版、日本文教出版は、基本に関連した内容について、また、東京書籍は、コンビニエンスストアにおける商品の販売数、学校図書は、雨量、数研出版は、体力テストの数値、啓林館は、インターネットの通信速度について、課題を設定しております。

東京書籍のコンビニエンスストアについての内容は、生徒は身近に感じ、自分の生活に関連づけて、学習できるのではないかと思います。

また、学習後に学びを広げようとして、実際にコンビニエンスストアのデータ分析について触れている点も、とてもよいのではないかと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。日常生活とのつながりが、こどもたちの教科書の中にも設定されているという部分では、確かに主体的に学ぶというところとは、関連性があるかもしれません。

ほかいかがでしょうか。

橋 本 委 員 私も全部拝見しまして、各社とも、生徒が見通しを持って、学習に取り組めるように、学習の目当てをしっかりと記載されており、また、取り組む問題に関連したページを記載されたりしています。

一方では、私は、記載内容とともに、教科書のレイアウト、割りつけも大切なではないかなと思っています。生徒が見やすいように、適切な情報量で、見やすいということに配慮された教科書が、とても望ましいんではないかなと思います。

その視点では、東京書籍は、色の使い方や余白、そういうことを生かして、全体的にシンプルなデザインで統一されていて、とても見やすいと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、レイアウトの視点という話をいただきました。

ほかいかがでしょうか。

眞 貝 委 員 私は、生徒が学んだことをしっかりと身につけることや、授業の中で、生徒が学びを振り返り、気づいたことや自分の考えをまとめることができます。

教育出版と大日本図書は、学習のまとめ、章を振り返ろうとして、1

ページにわたり示しております。

東京書籍、学校図書、啓林館も、学びを振り返ろうなどとして、生徒が学習したことを振り返り、まとめることができるようにしております。

東京書籍は、振り返りと併せて、数学の見方、考え方が示されているので、生徒は見方、考え方を生かしながら、自分の考えをまとめることができて、使いやすいのではないかと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。使いやすさ、指導しやすさといった視点から、今、お話をさせていただいている。

ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 こうとう学びスタンダードという視点で見ますと、大切にしていることの1つとして、幼児期から中学生までの学びの接続があると思います。

1年生の教科書を見てみると、各社とともに、目次や巻頭、巻末などで、小学校とのつながりについて記載があります。

特に東京書籍は、1年生最初の章はゼロ章、算数から数学へと設定しているので、生徒はスムーズに数学の学習をスタートできるように思います。

教育出版も、1年生で学習する正の数、負の数の前に、整数の性質を設定して、段階的に学べるように配慮されている点がいいのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。今、小学校との接続という視点、またスタンダードということで御意見をいただいたところです。

ほかいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、皆さんこれまでの御意見を伺っておりますと、数学については、東京書籍が適しているのではないかなどと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒が主体的に学習に取り組める工夫がされていること、生徒が使いやすく、教員が指導しやすい工夫があること、小学校との接続や既習事項との関連に工夫があり、数学スタンダードの定着が期待できること、以上の3つの理由により、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ございますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、数学については、東京書籍を採択することといたします。

それでは、引き続き、理科に移ってまいりますので、御準備をお願い

します。

それでは、よろしいでしょうか。

では、続いて、理科の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事

それでは、理科の結果報告書を御覧ください。

教科等、理科。

発行者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館の5社です。

内容の選択。

1点目、東京書籍は、各節の課題に対する結論を、生徒自身が記述でまとめるようになっている。

2点目、大日本図書は、各单元のまとめとして、探究活動が設けられており、主体的に学習を進められるように工夫されている。

3点目、学校図書は、探究の重点として、発達段階に応じたテーマが、各学年に設けられている。

4点目、教育出版は、疑問、課題から結論までの学習の流れが、各单元において明確に示されており、主体的に学習を進められるようになっている。

5点目、新興出版社啓林館は、間違いややすいことを正しく理解するためのポイントを示したり、章末で、学習した内容や用語を確認したりできるようになっている。

そのほか、構成・分量5点、表記・表現5点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮5点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、問題解決的な学習の進め方について、2点目、生徒の使い方について、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、新たに加わった指導内容についてなどとなっております。

以上です。

本多教育長

ありがとうございます。

それでは、理科について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

橋本委員

私は、理科といいますと、わくわくしながら、実験だ、実験だというふうに騒いだ記憶があります。理科では、観察や実験を通して、実感を持って学ぶということが、とても大切だと思います。特に見通しを持って、取り組むことが必要だと思います。

2年生の教科書を見てみると、酸化銅を還元して、銅を取り出すという実験がありますが、東京書籍、大日本図書、教育出版、啓林館は、

実験の目的から考察まで、1ページにきちんとまとめられており、生徒が結果を予想し、実験に取り組むことができるようになっています。実験の流れも一目で分かることができるので、見通しを持って、取り組むことができると思います。

大日本図書は、実験の目的を加えて、実験の着目点も提示してあります。実験の着目点が示されることで、何を意識して、実験に取り組めばよいのかがとても明確になる、学びが深まると思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、橋本委員から、わくわくという話がありましたけど、実感を持ってということは、理科は非常に重要なです。実感を持って、こどもたちが理解できるということは大事かなと思います。

ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 中学生になると、理科の授業は難しいと感じる生徒が増えているようあります。各社とも、章の始めに、これまでに学習してきたことを振り返って、これから学習することの見通しを持てるような記載があります。

大日本図書では、写真やイラストを用いて、小学校や中学校の理科の授業で、これまで学習したことを振り返ると、これから学習の見通しが、見開き2ページを使って、丁寧に示されています。

また、観察や実験の結果と考察の示し方を見てみると、大日本図書では、結果の例と結果から分かることを明記して、結果をどう解釈したらよいかを分かりやすく示しています。

また、学校図書も結果、考察を明確に示していて、分かりやすいと思います。

理科の授業が難しいと感じる生徒にとって、今までの学習の振り返りが丁寧に書かれていたり、観察の実験の結果と考察が明確に示されていることは、家庭で学習する際の手助けになるのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。先ほど橋本委員からも、自学という、家庭で自分で学べるという視点の話がありましたけれども、そういった部分での教科書の構成の工夫が、今、鈴木委員からのお話にもありました、ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 1年生の教科書の巻頭を見ますと、問題を生み出したり、課題を設定したりして学ぶといった探究的な学習が数問、掲載されております。各社、探究的に観察、実験が行われるようになっております。

東京書籍は、実験や観察を全て探究の流れに沿って、記載しております。

大日本図書を見ますと、各章末に探究のページを設けていて、1年生の64ページでは、植物の分類を学んだ後に、学習したことを生かして、自分の植物図鑑を作る活動が示されております。

啓林館でも、「みんなで探Qクラブ」として、各章末に探究活動が設定されていて、1年生の65ページには、夕食の材料になった野菜の分類を行う活動が設定されております。各章末に、発展的に探究活動が設定されていることで、探究的な学習の充実を図ることができていると思っております。

本多教育長 ありがとうございます。今、探究という言葉がありましたけれども、今回、どの会社も探究的な学習という部分では、工夫をしているかなと思います。

ほかいかがでしょうか。

進藤委員 今、探究的に学ぶことについてのお話がありましたが、私は、教室で学んだことを、日常生活や社会と関連づけて考えることも、とても大切だと考えております。実際の生活と結びつけて考えることで、生徒は、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できると思っております。

東京都の調査資料を見ますと、大日本図書と啓林館は、日常生活や社会との関連に関する内容を多く取り上げていることが分かります。

また、発展的な内容を一番多く取り上げているのは、大日本図書ではないかと思っております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。日常生活に関わるという視点での御意見をいただきました。

ほかいかがでしょうか。

橋本委員 理科は小学生から学んでると思うんですが、実験を行うときには、改めて安全には気をつけてほしいなと思います。安全についての記載を見ますと、1年生の教科書には、各社ともに、安全な理科室の使い方、実験器具や薬品の取扱いについてまとめられたページがあります。

東京書籍、大日本図書、啓林館では、注意点がチェックリストとして、示されています。注意点を一つ一つ確認して、実験をしたり、調べたりすることは、とても大切だと思いますし、生徒にも分かりやすくてよいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、安全についてというお話をいただきました。安全についてでも構いませんけど、何かございますか。

鈴木委員 安全面に関する記載ですと、東京書籍、大日本図書、啓林館は、理科室の決まりの中に、地震が発生した場合の注意点を示しています。大きな地震はいつ起きてもおかしくありませんから、早いうちに対処方法などを身につけることが大切だと思います。

東京書籍と大日本図書は、巻頭で示しているので、学年の始めに学ぶことができていいと思います。

また、実験は、理科室で行うことが多いと思いますけれども、実験のルールなどがたくさんある中で、教科書を使うことを考えると、教科書は、あまり大きくないう方がよいように思います。

この5社の中で、大きさが一番コンパクトなものは、B5判の大日本図書だと思います。

本多教育長 ありがとうございます。今、安全という視点から御意見をいただいたところです。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、理科については、大日本図書が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 よろしいですか。

それでは、これまでの意見を整理いたします。

教科書の構成に工夫があること、探究的な学習の充実が図れること、日常生活や社会との関連や発展的な内容が充実していること、安全への記載に工夫があること、以上4つの理由により、大日本図書を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、理科については、大日本図書を採択することといたします。

それでは、次に、音楽（一般）に移りますので、御準備をお願いいたします。

それでは、続いて、音楽（一般）の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、音楽（一般）の結果報告書を御覧ください。

教科等、音楽（一般）。

発行者、教育出版、教育芸術社の2社です。

内容の選択。

1点目、教育出版は、「歌唱、うたう」、「創作、つくる」、「鑑賞、

きく」の3領域が色分けされて、示されている。

2点目、教育出版は、創作、鑑賞の領域のページは、教科書に考えることなどを書き込めるようになっている。

3点目、教育芸術社は、生徒の興味・関心を引き出す親しみやすい楽曲が多く扱われている。

4点目、教育芸術社は、各ページの左端に、領域ごとに色分けされて、学習の狙いと音楽を形づくっている要素が示されている。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現3点、使用上の便宜5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮1点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教材の配列について、2点目、生徒の使いやすさについて、3点目、教員の指導のしやすさについて、4点目、写真等の資料についてなどとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、音楽（一般）について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

進藤委員 私は、音楽の学習では、みんなで楽しみながら歌ったり、演奏したりすることを通して、様々な音楽に親しんでもらいたいと考えております。そのためにも、基礎的な知識や技術を身につけさせることは、とても大切だと思います。

教育芸術社は、目次の後の学習の初めのページに、表現、鑑賞と領域ごとに分けて、身につけさせたい力を大きく掲載し、どの学習によって、どんな力を身につけていくのかということを示しております。

また、このページには、音色、リズムといった音楽を形づくる要素についても説明が書かれており、音楽の基礎を身につけるには、こういった要素を意識して、聴き取ったり、感じ取ったりしながら、学習することは大切ではないかと思います。

教育出版では、巻頭のページに、「学びのユニット」として、学習する曲や活動ごとに、身につける力や関連する学習ページとともに、この音楽を形づくっている要素が示されているようです。

示し方に違いはありますけれども、どちらの教科書も、学習によって、どんな力を身につけていくのかといった見通しを持たせる工夫があると思います。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 教育芸術社は、歌唱や鑑賞のそれぞれの学習ページでも、ページの左下に、旋律、強弱など、その学習で意識してほしい音楽を形づくっている要素が示されております。

また、「深めよう音楽」というページもあり、音楽を形づくっている要素を視点として、より学習を深める活動が設定されております。こうした活動を通して、音楽のよさを感じ取ることができのだと思っております。

本多教育長 ありがとうございます。今、音楽を形づくっている要素という部分についても、お話をいただいているところですけれども、ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 音楽を形づくっている要素という点について、2社とも、1年の教科書に、音楽を形づくっている要素に関するページがあります。

教育出版は、教科書の後半で、要素について説明するとともに、きらきら星変奏曲を通して、気づいたことや感じ取ったことを話し合う学習を設定しています。

教育出版は、1年の学習を振り返って、音楽を形づくっている要素の理解を深めるようになっていて、改めてそれぞれの要素について、詳しく説明しています。これまでの学習を生かすことができて、学びやすそうだなと感じました。

また、教育芸術社には、93ページに、曲のよさをプレゼンしようという1年間のまとめの学習も設定されていますけれども、この学習でも、音楽を形づくる要素を中心に、曲を紹介する学習が設定されています。音楽のよさ、美しさを感じながら学ぶことができて、よい教科書ではないかなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。ほかに別な視点でも構いませんけれども、いかがでしょうか。

眞貝委員 教育出版は、各学年の巻頭に、その学年で学習する代表的な歌について、見開き2ページにわたって、大きな写真を掲載しております。例えば、『夏の思い出』や『浜辺の歌』などです。

それに対して、教育芸術社は、実際にその歌を学習する前後のページに、大きな写真を掲載しております。

どちらの教科書も曲のイメージを想起させる写真を掲載しておりますけれども、学習しているページの近くに写真があったほうが、写真を見ながら、さらに曲のイメージを持って、学習に取り組むことができるのではないかと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。今、構成という視点で、御意見をいただきました。

ほかいかがでしょうか。

橋本委員 同じ構成の観点なんですけれども、教育芸術社の巻頭ページには、音楽に関わる著名人の写真と言葉が掲載されています。続くページには、「音楽って何だろう」という音楽について、いろいろ考えさせようとか、考えさせられる言葉が掲載されています。

教育芸術社は、芸術の一つとして、広い意味で、音楽について考えさせられるということから、学習が始まっていくという構成になっています。「音楽って何だろう」と自分なりに考えていくことがとても大切ですし、そういう意味で、学習を進めていけそうな感じがいたします。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

進藤委員 そうですね、巻末の資料ページの構成にも、各社、違いが見られます。2社ともに、巻末に合唱曲を掲載していますが、教育芸術社は、「歌い継ごう 日本の歌」として、日本の新旧の名曲を掲載し、その後、「心通う合唱」として、それぞれの学年にふさわしい曲を掲載しています。

ただ、合唱と一くくりにしてしまうのではなくて、歌い継いでいく、心を通わせると、合唱にとても意味が生まれてくるんじゃないかなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。確かに「歌い継ごう」や「心通う」などという題がついて、分かれています。

ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 私は、音楽は、社会生活の中で、重要な役割があると思っています。音楽が、その時代を反映している歌がたくさんあります。中学校の学習でも、社会生活の中でも、音楽の役割について学習することになったと伺っています。

その視点で教科書を見ますと、教育芸術社は、1年の教科書から、生活や社会の中の音楽というページを設定して、各学年で社会や生活の中での音楽の役割について考えさせることができます。

例えば、1年の教科書には、江東区にも、伝統として根づいている『木遣り唄』が掲載されています。また、二、三年の下には、仕事と音楽というテーマで、音楽に関わる仕事を紹介しており、キャリア教育の一環

としても、活用できるのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。とても重要な視点です。生活や社会の中の音楽ということについて、御意見をいただきました。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんのお意見を伺っておりますと、音楽（一般）については、教育芸術社が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

音楽を形づくっている要素について記載の工夫があること、学びやすい教科書の構成となっていること、音楽と生活や社会とのつながりを実感させる学習に取り組ませやすいこと、以上3つの理由により、教育芸術社を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、音楽（一般）については、教育芸術社を採択することといたします。

それでは、続いて、音楽（器楽合奏）の準備をお願いします。

それでは、音楽（器楽合奏）の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、音楽（器楽合奏）の結果報告書を御覧ください。

教科等、音楽（器楽合奏）。

発行者、教育出版、教育芸術社の2社です。

内容の選択。

1点目、教育出版は、教材の初めに、学習の狙いが明示され、まとめの曲として、学習内容を表現する活動がある。

2点目、教育出版は、リコーダーの学習について、小学校で扱うソプラノリコーダーを用いた曲も掲載しており、ソプラノリコーダーからアルトリコーダーへ、段階的に学習できるようになっている。

3点目、教育芸術社は、最初に教材として、アンサンブルセミナーが掲載されており、小学校で扱うソプラノリコーダーとアルトリコーダーを用いる合奏曲や打楽器や和太鼓の合奏曲を取り上げている。

4点目、教育芸術社は、リコーダーの学習について、レッスン1から4まで、段階を踏んで、学習できるようになっている。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現3点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮3点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、教材の配列について、2点目、生徒の使いやすさについて、3点目、教

員の指導のしやすさについて、4点目、写真等の資料についてなどとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、音楽（器楽合奏）について御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

進藤委員 学習の見通しについてですが、器楽合奏の教科書は、音楽の中でも、楽器を演奏することを通して学んでいくわけですけれども、楽しく演奏するために、必要な基礎が学べる教科書がいいんではないかと思います。

その点、教育芸術社は、音楽（一般）の教科書と同じように、目次の後の学習の初めのページに、身につけさせたい力を大きく掲載し、どの学習によって、どんな力を身につけていくのかを示しております。また、音色、リズムといった音楽を形づくっている要素も示されています。

どんな学習によって、どんな力を身につけていくのかといった見通しを持った学習ができるのではないかと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、見通しという視点で、お話しをいただきました。

ほかいかがでしょうか。

橋本委員 生徒の中には、楽器はちょっと苦手であるという子もいっぱいいると思います。器楽合奏の教科書は、楽器を演奏するための基礎基本が身につけやすいということが、一番大切なではないかなと思います。

そこで、どの学校でも、学習しているであろうというリコーダーの学習のページを見てみます。2社とも、ページの端に指使いの表が提示されていて、とても分かりやすいと思います。どちらの教科書でも、確実に基礎基本を習得できそうです。

その中でも、教育芸術社は、レッスン1からレッスン4まで、学習課題を分けています。このように、学習の段階を示しているということは、先の見通しを持って、学習に取り組めると思います。

また、Q&A、いわゆる疑問点など、こういうものが分からぬなどいうことも、演奏するポイントでは示していて、中学生にとっては、分かりやすいのではないかと考えます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、お話に出たQ&Aというものは、確かに生徒が質問している形で書いてあるんです。そうすると、生徒にとって

は分かりやすいのではないかなと思います。

ほかにいかがでしょうか。

鈴木委員 基礎基本の習得についてですが、教育芸術社は、各学期の学習ページの前に、「アンサンブルセミナー」というページを設けています。曲の構成を理解し、表情豊かに演奏しようと、どの楽器の演奏でも大切となる目標を設定しています。

また、「アンサンブルセミナー」には、音楽（一般）と同様に、「深めよう音楽」というページがあります。器楽合奏の学習においても、例えば、構成、強弱のように、音楽を形づくっている要素に注目させて、学習を深める活動が設定されているので、基礎的な力を身につけやすいんではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。今、お二方から、基礎基本の習得に書かれた内容について、お話しeidaitaかと思います。

ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 採択資料作成委員会の結果報告書にも記載がございますが、江東区の中学校では、三味線を使って、学習している学校が多いと伺っております。

その三味線の学習ページを見比べてみると、教育出版は、初めに、姿勢と構え方として、大きな写真を掲載しております。基本的な技術を身につけるには、まず、きちんとした姿勢や構え方を覚えるべきですが、一方、教育芸術社は、まず、「楽器を知ろう」、「三味線の様々な演奏」という項目があり、歌舞伎や文楽などで、三味線が使われている写真を掲載するなど、日本の伝統文化としての三味線の学習が強調されている構成と感じます。教育芸術社のほかの和楽器のページを見てみると、同様の構成となっております。

技術の習得も重要だと思いますが、伝統文化が今も息づく江東区のこどもたちには、日本の伝統文化としての和楽器を学んでほしいと思っております。

本多教育長 ありがとうございます。今、和楽器の視点からお話がありましたけど、広い視点で捉えられるような記載があるということでした。

ほかいかがでしょうか。

橋本委員 楽器ということで関連づけたお話なんですが、和楽器だけではなく、ほかの楽器についても、こどもたちの分かりやすい興味津々になるようなものがいっぱい出ております。

今のかどもたちは、日常生活の中でも、音楽というものは、すごく親

しんでいると思いますが、J－P O P という言葉が、音楽の1つのジャンルとして、定着してきていますし、ロックバンドの歌が好きだという中学生はいっぱいいるんじゃないかなと思います。私は、そうした身近な楽器や音楽を通して、興味・関心を高めてほしいと思っています。

教育芸術社は、ギターの学習ページ、これはエレキギターなど、身近にある、触ってみたいなどというような楽器が掲載されていました、打楽器を紹介するページには、ドラムセットなども掲載されています。

また、「バンドの世界をのぞいてみよう」という、有名なバンドが掲載されているページもあります。こどもたちが興味を持って、学んでいけたらということには、すごくいいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。こどもたちは、確かにいろいろなJ－P O Pなど、関心が高いところがあります。今、興味・関心というところでの視点からのお話をいただいたところです。

ほかいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの皆さんの御意見を伺っておりますと、音楽（器楽合奏）については、教育芸術社が適しているのではないかなどと思いますが、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 よろしいでしょうか。

それでは、これまでの意見を整理いたします。

見通しを持って学習に取り組みやすいこと、基礎基本の習得を図りやすいこと、楽器の指導に関わる教科書の構成に工夫があること、以上3つの理由により、教育芸術社を採択いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、音楽（器楽合奏）については、教育芸術社を採択することといたします。

それでは、続いて、技術・家庭の技術分野に移りますので、御準備をお願いいたします。

それでは、技術・家庭（技術分野）の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、技術・家庭（技術分野）の結果報告書を御覧ください。
教科等、技術・家庭（技術分野）。

発行者、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3社です。

内容の選択。

1点目、各社とも、巻頭にガイドanceが設けられています。

2点目、東京書籍は、生徒が学習を一目で見渡せるように、学習内容

を見開きで構成している。

3点目、東京書籍は、様々な思考ツールを取り上げ、生徒が主体的に学習活動に取り組めるように、配慮されている。

4点目、教育図書は、生徒が主体的に取り組めるように、「やってみよう」で、技術について調べたり、考えたりする活動がある。

5点目、教育図書は、「スゴ技」、「技ビト」のコラムを取り上げ、生活や社会の中で使用される技術について、興味・関心が持てるようにしている。

6点目、開隆堂出版は、生徒が主体的に取り組むことができるよう、各章の項目の冒頭に、導入課題、「考えてみよう」を設定している。

7点目、開隆堂出版は、実習例の中で、問題解決の流れを提示している。

そのほか、構成・分量6点、表記・表現5点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、課題解決的な学習の流れについて、2点目、安全面の配慮について、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについて、5点目、新たに加わった指導内容についてとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、技術・家庭（技術分野）について、御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

鈴木委員 技術・家庭の技術分野は、中学校から学ぶ教科ですので、生徒が興味・関心を持って学べるよう、工夫されている教科書がよいと思います。

各社の教科書を開くと、初めのページに、ロボットの写真や「Technologyを見つけよう」、「ようこそTechnologyの世界へ」という記載があり、「技術って、楽しそうだな」と、生徒が意欲を高め、学ぶことができそうであります。

また、ガイダンスを見ますと、技術の役割内容について触れておりまして、技術への関心も高まりそうです。

東京書籍と開隆堂出版は、技術分野の学習で取り組みたいことや、できるようになりたいことを記載する欄が設けられていることがいいなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

進 藤 委 員 私は、生徒が自分で設定した課題に取り組むときに、手助けとなる資料が、豊富に掲載されている教科書がよいと思います。例えば、生徒が作業を行うときに、作業の手順や工具の扱いなどについて、困ったときに、効果的に活用できる資料であると、非常に便利だと思います。

教科書を見てみると、各社、写真や図を多く掲載するなどして、分かりやすく示しているようです。

東京書籍では、「TECH Lab」というページで、生徒が解決方法を選択し、解決できるように示し、また、教育図書は、別冊『技術ハンドブック』を設け、基礎技能として、課題ごとに解決方法を示しております。

開隆堂出版は、実際に実習で制作するページに、技能について、記載がそれぞれあります。また、各ページの右の上に、用具の写真と名前が掲載されていて、楽しみながら学べる工夫がされているんではないかと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

橋 本 委 員 私は、「木材のけがき」という欄を見ているんですが、各社、写真とともに、作業のポイントが示されていて、とても分かりやすくなっています。

中でも開隆堂出版は、流れや工法を示した上に、緑色の大きなマーク、動作のポイントが書いてあるんですが、それがとても見やすくていいと思います。

また、修正方法も記載されているので、材料が欠けてしまうなど、トラブルが起きたとき、「ああ、やっちゃったかな」というときに、どう対応すればいいのかということが分かるようになっていて、安心して、作業に取り組めるのではないかなと思います。

写真や図は通し番号で示されているので、友達と話すときに、ここ、ここというような分かりやすさが、すごくいいと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。確かに、図が全部通し番号で書いてありました。
ほかいかがでしょうか。

進 藤 委 員 今、私は、開隆堂出版の11ページ、東京書籍の8ページ、技術の歴史が掲載されているページを見ております。私たちの生活が便利になつたり、暮らしやすくなつたりしていることは、技術者の方々が、私たち

のこうなったらしいなという願いをかなえようと、研究を重ねて、技術を進歩させてくれたおかげだと感じております。技術の進歩によって、私たちの生活は便利になったわけですが、環境への負荷や安全性などについても、併せて考える必要があると思います。

教科書を見ますと、技術の見方・考え方として、同様なことについて、書かれております。生徒が技術を学習する際には、技術の見方・考え方を働かせて、学んでほしいと思っております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。技術の見方・考え方の視点からお話ししていただきました。

ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 技術の見方・考え方について、東京書籍は、11ページ、開隆堂出版は、14ページに、技術の見方・考え方が示されております。

東京書籍は、4つの視点で内容をまとめてあり、「最適化の窓」、「のぞいてみよう！」で、現在の技術や未来の技術について考えができるようになっております。

開隆堂出版は、性能と価格のように、両方の視点を両立させることが難しいときに、何を重視するかを決定する「トレードオフ」について詳しい記載がございます。

また、各編のまとめのページだけではなく、「トレードオフ」の考え方が必要なところに、「トレードオフ」のマークをつけて、繰り返し学べるようにしております。生徒は繰り返し考えることで、「トレードオフ」の視点が身につくのではないかと考えます。

本多教育長 ありがとうございます。今、トレードオフという話がありましたけど、確かに難しい視点ですから、繰り返し出てくるという工夫もいいのかもしれません。

ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 情報の技術の学習では、実際にパソコンを操作する技術と同様に、情報モラル、情報セキュリティの学習も大切だと思います。

東京書籍では、情報機器や情報ネットワークを利用する際の便利な点と注意すべき点を対比しながら記載しています。

教育図書は、「やってみよう」というコーナーを作り、生徒に実際にどんな問題が起こるかを考えさせる工夫があります。

開隆堂出版は、導入で、SNSを利用するときに、注意する必要があることについて、生徒たちに話し合わせる活動を位置づけて、生徒が問題を自分事として考えるように工夫しています。

特に開隆堂出版は、知的財産について具体的な例を示し、トラブル防止につながるよう正在しているところがいいと思います。

本多教育長 ありがとうございます。情報モラルや情報セキュリティーという部分では、やはり、これから時代を生きていくこどもたち、今も本当にこどもたちの周りで、そういうことの問題もありますし、課題として解決していかなければいけないところもあるので、そういう視点の学びやすさなどは確かにいいかなと思います。

ほかにいかがでしょうか。

橋本委員 もう一つ新しい情報の技術の学習ですけれども、小学校からプログラミング教育というものがあって、始まりました。中学校では、どのように学習していくのか、私もすごく興味があります。

中学校では、小学校の体験を基に、プログラミングによる問題解決に取り組んでいくというような形になると思うんですが、まだ始まってからは、期間はほんのちょっとしかないものですから、小学校での体験で、個人差が予想されています。

開隆堂出版は、巻末の資料に、Scratchの基本操作について、丁寧に解説されています。これは、授業の中で分からなくなってしまっても、自分で調べて、課題を解決できるんじゃないかなと思います。

また、複数のプログラミングの言語の例を掲載して、高等学校や社会に向けて、学びを広げていけるようにというような配慮がされていることも、すごくいいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。プログラミングも、今、橋本委員がおっしゃられたように、来年の中学生とそれ以降の中学生で、小学校の実践が随分違ってくるので、そういうところの違いもあるかもしれません。そういう部分では、資料の充実というところも重要なかなと思います。

ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 これまでの御意見を伺っておりますと、技術・家庭（技術分野）につきましては、開隆堂出版が適しているのではないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

生徒の主体的な学びを促す工夫があること、技術の見方・考え方についての記載に工夫があること、情報の技術の学習の記載について工夫があること、以上3つの理由により、開隆堂出版を採択したいと思いますが、御異議ございますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、技術・家庭（技術分野）については、開隆堂出版を採択することといたします。

それでは、続いて、技術・家庭の家庭分野の御準備をお願いいたします。

それでは、技術・家庭（家庭分野）の結果報告について説明願います。

佐久間主任指導主事 それでは、技術・家庭（家庭分野）の結果報告書を御覧ください。

教科等、技術・家庭（家庭分野）。

発行者、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3社です。

内容の選択。

1点目、各社とも巻頭にガイダンスを設け、自立と共生について掲載している。

2点目、東京書籍は、学習の目標、導入課題、基礎学習、学習のまとめ、学習の振り返りの流れで、基礎基本の学習の定着を工夫している。

3点目、東京書籍は、「まとめよう」、「生活に生かそう」の項目があり、学習内容と自らの生活を振り返りながら、学習を進めていく工夫がある。

4点目、教育図書は、各編が、「導入」、「やってみよう」、「学びを生かそう」、「各章のまとめの構成」になっている。

5点目、教育図書は、学習指導要領が示され、AからBの順となっている。

6点目、開隆堂出版は、各編の冒頭に、「私の興味・関心について」記載することができる。また、「話し合ってみよう」、「発表してみよう」など、小課題が設定されている。

7点目、開隆堂出版は、学習指導要領に示されるAからBの順となっている。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現5点、使用上の便宜5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、課題解決的な学習の流れについて、2点目、安全面の配慮について、3点目、生徒の使いやすさについて、4点目、教員の指導のしやすさについてなどとなっております。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、技術・家庭（家庭分野）について、御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

橋 本 委 員 家庭分野は、技術と違いまして、小学校から学んできています。1年生では、調理実習などが楽しみでしょうし、小学校とどう違うのか、興味を持って、関心を持って、学習に取り組むというのではないのかなと思っています。

小中学校との接続ということで、教科書を見てみると、各社ともに、小学校での学びを確認できるように工夫されています。

特に東京書籍では、それぞれの編の学習の最初のところに、小学校での学習について、詳しく振り返り、そういう形で、中学校で学ぶことを並んで書いてあり、見通しとしても持ちやすいと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

眞 貝 委 員 家庭分野の学習では、生徒が自立した生活に必要な知識や技能を身につけることが大切だと思います。そのためには、生徒が自分の生活を見つめ、気づいた問題点などについて解決を図るなど、主体的に学ぶことが必要になると思います。

教科書を見ると、各社とも巻頭にガイダンスというページを設け、生徒がこれからどんな学習をするのか、何のために学習するのかを分かりやすく掲載していて、よいと感じました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。主体的に学ぶためのそといった視点かなと思います。

ほかいかがでしょうか。

鈴 木 委 員 私は、生徒が主体的問題解決に取り組める工夫が見られる教科書がよいと思います。

ただいま眞貝委員の御発言にあったガイダンスを見ると、東京書籍、開隆堂出版は、学習内容や学習の進め方など、10ページ以上にわたって記載がありまして、内容がとても充実していると感じました。

また、東京書籍は、学習内容や学習の進め方とともに、「自分の生活をチェックしよう」というページで、各学年の初めと3年生の終わりに振り返りができるようになっています。どんなことができるようになったのかを確認することができるので、自分自身の成長に気づくこともできる、いい本だと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

進 藤 委 員 私は、生徒にとって、学習の進め方が分かりやすくて、見通しが持てる教科書がいいと思います。各社、教科書に目当てや目標を示し、授業の終わりに、学んだことのまとめや振り返りができるようになっております。

東京書籍、教育出版は、節ごとに見開きページの中で、目当てや目標、まとめや振り返りが示されていて、見やすくて、生徒が主体的に学びやすい構成になっているのではないかと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。主体的な学びについてのお話をいただきました。

ほかいかがでしょうか。

眞 貝 委 員 家庭分野の学習では、実際に調理をしたり、製作をしたりする実習は、技能を身につけるために大切だと思っております。私は、授業場面を想像しながら、肉の調理、しうが焼きのページを見ましたけれども、各社とも、写真などを本格的に入れてあり、手順などが分かりやすくなっています。

東京書籍は、「これだけはできるようになろう」として、生徒に確実に身につけてもらいたい調理の技が示されています。

教育図書では、「どうしてこうなったのかな」として、実生活で起こりそうな心配を基に、学べるようにしていることがよいと思いました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、調理の話がありましたけれども、そういった部分では、とても大事なことかもしれません。

ほかいかがでしょうか。

橋 本 委 員 私は、布を使ったものの製作のページを見ています。各社ともに、実習例が、結構、複数掲載されていて、自分の興味や技能に合った製作物を選択できるように工夫されています。

例えば、教育図書の実習例では、まさに今、必要なマスクの作り方が、掲載されています。

開隆堂出版と東京書籍には、実習例とは別に基礎的・基本的な技能についての記載があります。

特に東京書籍の「いつも確かめよう」は、写真やイラストに加えて、注意点・留意点が、短い言葉で、すごく分かりやすく書いてあるんですけど、これはすごくいいと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

進 藤 委 員 体験的な学習というと、保育体験もとても貴重な学習です。江東区の中学校では、3年生になると、幼稚園や保育園などに実習に行くと聞いておりますが、教科書を見ますと、開隆堂出版は、「やってみよう」で幼児の目線について体験できるようにしております。

東京書籍は、これですが、巻末にある視界体験眼鏡を使って、目線だけではなくて、幼児の視界について、疑似体験ができるようになっていて、とても工夫がされているのではないかと思います。

先ほど、調査研究資料を見ていたんですが、東京書籍は、実践的・体験的な活動について、掲載がより多いように思いますが、どうでしょうか。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。確かに家庭科の授業というと、調理だけではなくて、製作、保育体験も、そうです。様々なそういった実践的なものも非常に重要になってきます。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 それでは、これまでの御意見を伺っておりますと、技術・家庭（家庭分野）につきましては、東京書籍が適しているのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

(「結構です」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 それでは、これまでの意見を整理いたします。

小学校との学びの接続が図りやすいこと、生徒が主体的に学べる教科書であること、実践的・体験的に学べる工夫があること、以上3つの理由により、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 御異議ございませんので、技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍を採択することといたします。

それでは、以上で、本日予定しておりました教科、分野の教科書についての協議は終了いたしました。これで、前回の協議と合わせまして、令和3年度より江東区立中学校等で使用する教科書が全て決定いたしました。

ここで採択を決定しました教科用図書について、教科、分野名、発行者名を確認させていただきます。

国語、光村図書出版、書写、光村図書出版、社会（地理的分野）、帝国書院、社会（歴史的分野）、教育出版、社会（公民的分野）、東京書籍、地図、帝国書院、数学、東京書籍、理科、大日本図書、音楽（一般）、教育芸術社、音楽（器楽合奏）、教育芸術社、美術、日本文教出版、保

健体育、学研教育みらい、技術家庭（技術分野）、開隆堂出版、技術家庭（家庭分野）、東京書籍、外国語（英語）、三省堂、特別の教科道徳、日本文教出版。

ただいまの選択結果について御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ありませんので、令和3年度より使用する中学校教科用図書について、ただいま確認させていただいたように決定いたします。

以上で中学校教科用図書採択に係る傍聴案件の審議が終了いたしましたので、本案件のみの傍聴を希望された傍聴人の方は、事務局が御案内いたしますので、御退室願います。

なお、その他の案件についても傍聴を希望される方につきましては、引き続き傍聴していただいても結構です。ありがとうございました。

（傍聴人退室）

本多教育長 それでは、続いて、協議事項2、令和3年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についてを議題といたします。

本案について、事務局より説明願います。

伊藤指導室長 それでは、令和3年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について、御協議をお願いいたします。

初めに、資料について御説明いたします。江東区立小中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、資料9の「江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」に基づき、障害種別や程度、発達段階等を考慮して、こどもたちに最もふさわしい教科書という視点で、教科書の調査を行ってまいりました。

調査部会では、各特別支援学級設置校からの調査結果に基づき、内容だけでなく、文字の大きさ、表現やイラストの扱い、活用法、系統性などについて、精査・検討を行いました。

その結果を一覧表にまとめたものが、資料10「令和3年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」及び資料11「令和3年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」でございます。

資料10、資料11の記載についてでございますが、区分のところに、「検」と記載してありますものは、文部科学省の検定を経た教科用図書のことでございます。

文部科学省の検定を経た教科用図書を使用する場合は、小学校においては、現在採択されている発行者の教科用図書を使用することになります。中学校については、今年度採択する発行者の教科用図書を使用することになります。

次に、「文」と記載してありますものは、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書のことでございます。

「般」と記載してありますものは、学校教育法の附則9条に規定する

一般図書のこととでございます。

特別支援学級で使用する教科用図書は、以上の中から採択することとなっております。

最後に、一般図書の採択基準について説明をいたします。資料9「江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」を御覧ください。

一般図書の採択基準は、

教科の主たる教材として、教育目標の達成上、適切な図書であること。

現在も入手が可能な図書であること。

児童・生徒の障害種別・程度、能力・特性に最もふさわしい文字、表現、挿絵、題材等の図書であること。

可能な限り、系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容を持つ図書であることなどが挙げられます。

なお、一般図書は、資料12の東京都教育委員会が調査・研究を行い、作成した「令和3～4年度使用、特別支援教育教科書調査研究資料」に掲載されている図書の中から選定を行っております。

教科書として採択する一般図書は、各教科の主たる教材として、有効かつ適切でなければなりませんが、資料10、11としてまとめました教科用図書一覧は、十分に調査研究されたものの中から選定されているものであることを、付け加えさせていただきます。

本多教育長 ありがとうございます。

既に各委員の先生方には、一覧にあった教科書についても御覧いただいているところではありますけれども、本案につきまして御協議いただきたいと思います。いかがでしょうか。

橋本委員 特別支援学級では、在籍する生徒一人一人の障害の特性に応じた指導が大切であるというような考え方であります。

例えば、文字を読むことが苦手な生徒も数多くいると思います。児童・生徒にとても分かりやすいように、写真やイラストで、文字以外で、視覚的に内容を理解ができるように配慮されていることや、学習の習熟度に対して、学習を進められている段階的また系統的に学べるような配慮されているという教科書が非常に重要なと思います。

本多教育長 御意見ありがとうございます。

ほかいかがでしょうか。

眞貝委員 一覧で掲載されている図書を実際に目にしましたけれども、例えば、文部科学省の著作本、『さんすう』については、全てのページがカラーで印刷されていて、視覚的に見やすいだけではなく、透明なシートを使

用して、数をまとめて数えるページや、質感の違うイラストで、長さについて学習するページなど、実際に操作しながら、学習できるように配慮されていると考えました。

また、同じさんすうのシリーズとして、発展的な内容について扱われている星4つのものなどがあり、系統的に学習が進められるように工夫されていると感じております。

本多教育長 ありがとうございます。今、文部科学省の著作本について御意見をいただきたいところです。

ほかいかがでしょうか。

鈴木委員 私は、主体的学びを促すために、児童・生徒の学習に対する興味・関心が高められるような日常生活との関連が図られている教科書がよいと思います。現在の生活に関わる内容や、将来の自立につながる内容、実験、手段、体験的な学習についての内容が掲載されている教科書がよいのではないかと思います。

そういう観点では、一覧に記載されている図書は、よく工夫されていると思います。例えば、『ひとりだちするための進路学習－あしたへのステップ－』は、将来、働くことに向け、大切な金銭の管理や履歴書の書き方、現場実習の注意点などについて、分かりやすくまとめられているのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

進藤委員 私も、毎年、特別支援学級の一般図書を見ていますが、眞貝委員、鈴木委員がおっしゃるように、こどもたちにとっても、分かりやすく、そして、生活との関連が図られている教科書が最適だと思います。

昨年度も話題にしました『ゆっくり学ぶ子のための』というシリーズは、その子の特性に合わせたスピードで学ぶことにできるので、こどもたちにとっても、非常に理解しやすいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかいかがでしょうか。

橋本委員 配られている資料10と資料11に掲載されている教科書用図書についてですけれども、今、各委員からも御発言いただいたように、こどもたちの障害や発達を踏まえて、活用することができれば、一番いいと思いますし、どれも本区の小中学校の特別支援学級で使用するのに、ふさわしいと私は思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、各委員から様々な御意見をいただきて、こどもたち一人一人に合ったもの、指導するほうもそうですけれども、恐らく、こどもたちの学びのスピードに合わせるとか、そういった部分、いろいろ御指摘、御意見をいただきて、そういったものが、こちらには反映されているのではないかなどという御意見だったかなと思っております。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、ほかに御意見がないようですので、令和3年度江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、資料10、令和3年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧、資料11、令和3年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧のとおり採択したいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、令和3年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧、令和3年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧のとおり採択をいたします。

以上をもちまして、令和3年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についての協議を終わりにいたしたいと思います。

以上で傍聴案件の審議が終了いたしましたので、傍聴人の方は、事務局の指示に従い、御退室願います。

(傍聴人退室)

本多教育長 それでは、以上をもちまして、令和2年第8回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。